

# オペレーション系ソフトウェアの生産技術

Production technologies of operation software

NTTIは自社技術で大型コンピュータシステムDIPSを開発、各種業務に適用しており、オペレーション系ソフトウェアの多くはDIPS環境でつくられてきた。

しかし、近年のコンピュータや端末のマルチベンダ化に伴い、DIPSもその役目を終え、

DIPS用としてつくられた膨大なソフトウェア資産を有効に活用するため、コンピュータのハードウェアやOS、および端末に依存しない共通プラットフォームとして、StageとPrimeを開発した。

この2つによって、高品質なオペレーションシステムの開発と導入を効率的に行えるようになった。

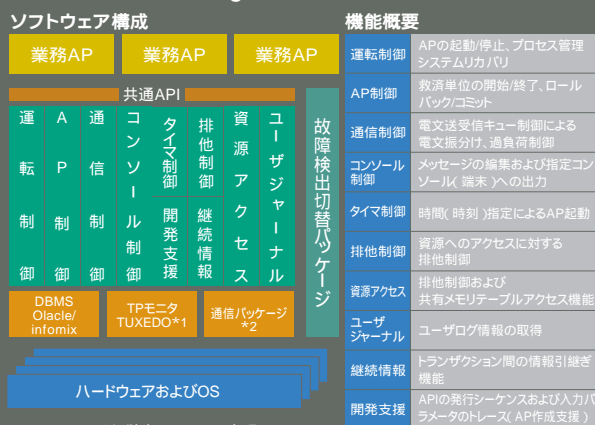
## OpS統合プラットフォーム－Stage

Standard Application platform for Operations Sysytems

Stageは、クライアント / サーバでオンライン・トランザクション・システムを実現する際のトランザクション制御、通信制御、運転制御などの複雑な機能を提供している。

Stageの利用で、アプリケーションの作成者は複雑な制御処理を意識することなくシステムを構築できる。すなわち、複雑な制御処理を作成する必要がなくなり、開発量を減らしシステムを短期間に開発可能となった。また、市販OLTP製品を組み合わせ、アプリケーションが使いやすい応用機能として提供している。市販製品のバージョンアップ、仕様変更によるシステムの変更もStageが吸収するのでアプリケーションへの影響を最小限にとどめられる。さらに、共通API( 共通アプリケーションインタフェース )の採用でアプリケーションプログラムの部品の再利用と品質確保を実現している。

## Stageの構成と機能



## OpS端末用共通プラットフォーム－Prime

Platform for Reasonable Integrated Management of NOS Environment

Primeは、端末系の共通プラットフォームとして、オペレーションシステム構築に必要な管理機能、通信機能などの共通機能および、これらを利用するためにアプリケーションインタフェースをライブラリの形で提供する。Primeの使用で、アーキテクチャレベルの部品化による大規模な再利用が可能となり、生産性の向上につながる。

Primeは、マルチベンダターゲットのシステムで、3ベンダ3OSに対応。

デバイスやOSとの複雑な手続きが必要な処理をアプリケーションから分離、システム依存を局所化することでアプリケーション開発の負担を軽減、ハードウェアやOSの違いの吸収でアプリケーションの移植性を高めている。

各システムで固有な情報は、システム環境ファイルに記述、起動時の読み込みで、さまざまなシステムに柔軟に対応した動作環境を自動的に設定することを実現している。

## Primeの構成と機能

